

レファレンスツールを知ろう

11:15 – 12:00 (45分)

- レファレンスツールとは
- レファレンスツールの特徴
- グループワーク
- レファレンスインタビュー

1

令和元年度 公共図書館初任職員研修会

レファレンス実習

県立長野図書館

レファレンスって？

- 目的の資料がどこにあるのかを調べる **所蔵**調査・所在調査
- 目的の「本」について調べる **書誌**的事項調査
(タイトル、著者、出版社、ページ、大きさなど)
- 特定の内容についての資料の紹介 **文献**調査
- 特定の事柄について知りたい **事項**調査
- 調べ方を知りたい 利用の**援助**
- 専門機関を照会・紹介 **レフェラル**

この講義の目的

利用者が求める情報を

信頼できる情報源から

利用者が利用しやすい形で

速やかに提供する方法を考える

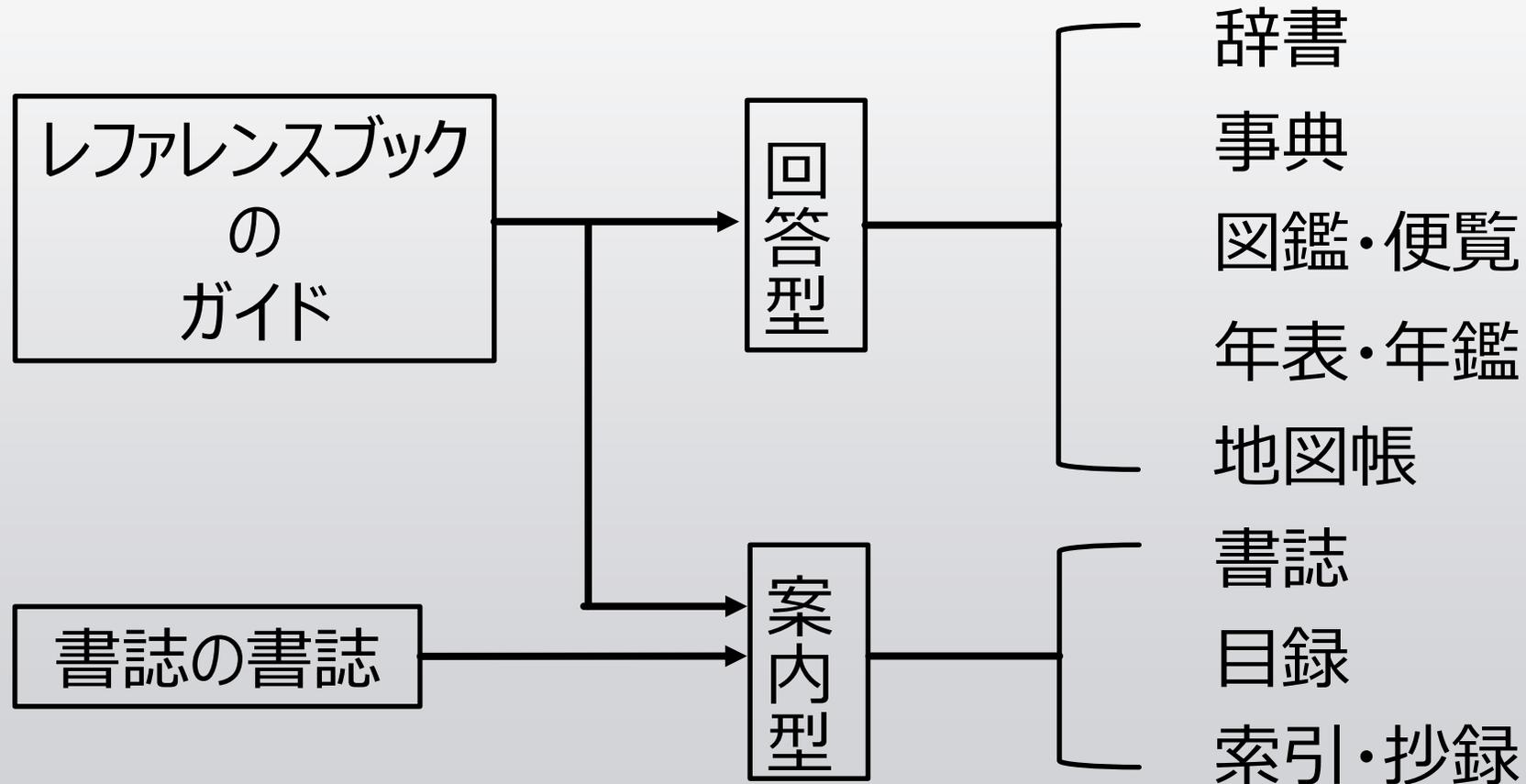
レファレンスで使われる資料とは 目的の情報を見つける近道

図書館が所蔵する資料群

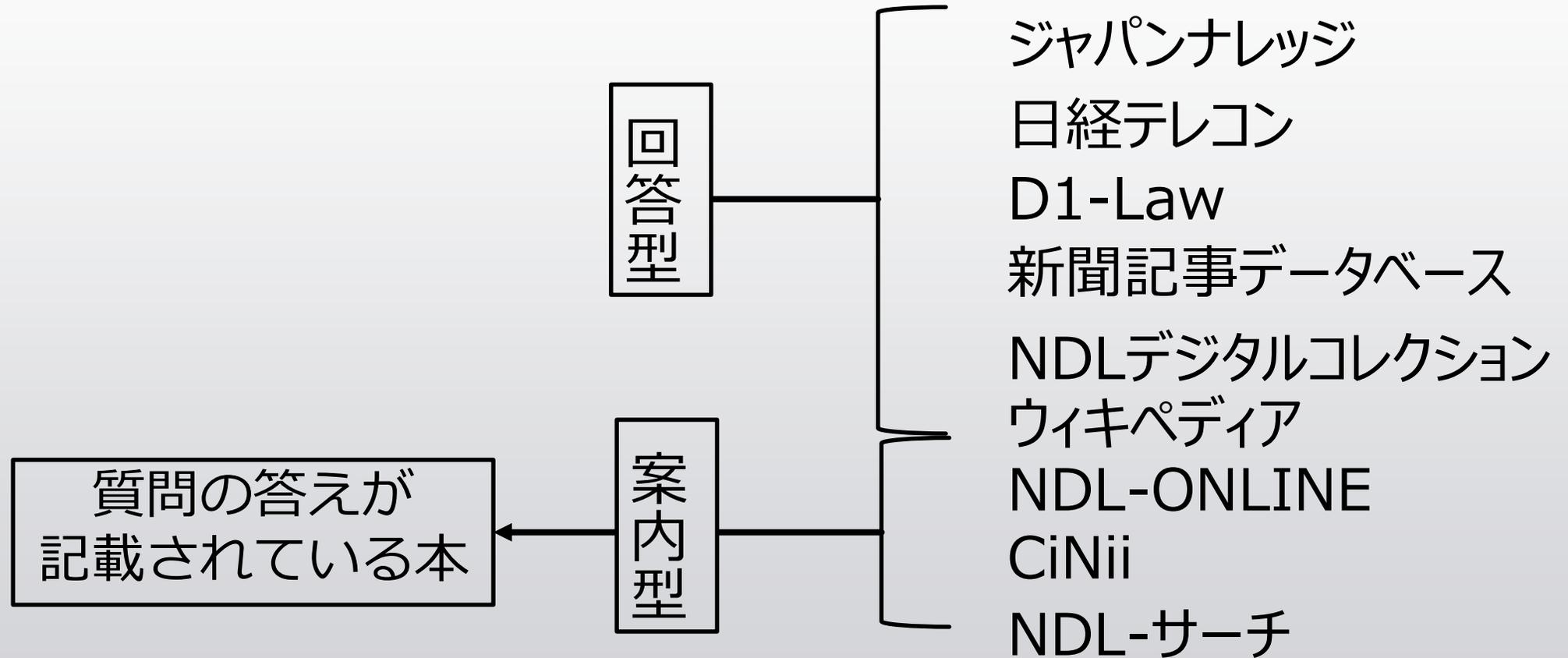


レファレンスツール（図書）の種類

内容面 既知の情報やデータを収録している
形式面 参照しやすいように編集されている
(項目ごと、索引がある)



レファレンス（インターネット情報源）の種類



レファレンスツールのポイント

直感的に使うと失敗する

- ▶ どうやって使うものか、このツールで何がわかるのか、必ず「凡例」「help」「〇〇について」を見よう
- ▶ 索引で引いた？ その言葉は見出し語かな？
- ▶ いつの情報？ 最終更新はいつ？
- ▶ 収録範囲は？
- ▶ 加工したものなら、元の情報は？
- ▶ 本当にあってる？ 念のための作業が必要

目的の資料がどこにあるのかを調べる

- ▶ 『真田幸村』を所蔵している図書館を知りたい
 - ◆ 所蔵目録やweb-OPAC
(県内横断検索も有効)
 - ◆ 総合目録データベース
(国立国会図書館サーチやCiNii-Books)
 - ◆ 国書総目録 (古典籍)

本のタイトル、著者、出版社など

- ➡ 『真田幸村』（柴田錬三郎著）の出版社は？
 - ◆ 所蔵資料で確認
 - ◆ 他機関の所蔵目録やweb-OPAC
(国立国会図書館サーチ、NDL ON LINEやCiNii-Books)
 - ◆ 書店のwebsiteなど

特定の内容についての資料の紹介

▶ 「真田幸村」に関する本の情報を知りたい

- ◆ 選択書誌 （特定の人物、主題の出版された本の目録）
- ◆ 一般書誌 （一定期間に出版された本の目録）
- ◆ 雑誌記事索引 （一定期間に出版された雑誌記事の目録）
- ◆ 総合目録データベース （国立国会図書館サーチやCiNii）

※ 実際に掲載されている資料が、利用者の要求に応えるものか確認する

特定の事柄について知りたい

▶ 「真田幸村」の生没年を知りたい

- ◆ 事典 （百科事典など）
- ◆ 辞書 （国語辞典、英和辞典など）
- ◆ 専門事典・図鑑・年表 （特定分野の事典や用語辞典など）
- ◆ 年鑑・統計書
- ◆ データベース （ジャパンナレッジ, 日経テレコン21, D1-Law）

調べ方を知りたい

▶ 「真田幸村」についての調べ方がわかる

- ◆ パスファインダー

- ◆ 国立国会図書館レファレンス協同データベース

- ※ 利用者が自立して、課題解決ができるように誘導していく

・「やってみせ言ってみせて聞かせてさせてみて ほめてやらねば人は動かじ」（山本五十六）

『名言名句集成 日本篇』中山秋生著 日本実業出版 1994【15.9.8/ナシ/1】

専門機関を照会・紹介

- ▶ 「真田幸村」直筆の文書の年代を…
 - ◆ 専門情報機関総覧
 - ◆ 大学の図書館も頼れる存在

グループワーク

【よく使われるツールを知る】

どんな目的で使うことを想定して編集されているか知ろう

どんな点が便利か！

デメリットはあるか？

グループワーク

- ▶ よく使われるツール どんな特徴があるのか
 - 1 1グループで、2冊をよく調査してください。
 - 2 どんな種類のレファレンスツールか、どんな内容なのか
どんな質問が来た時に使えそうか
 - 3 1冊あたり1分で、皆さんにプレゼンしてください。

レファレンスインタビュー

なぜインタビューするのか

- ▶ 利用者は聞きたいことを、
うまく伝えられない場合がある
- ▶ 利用者自身が、
質問内容をよくわかっていない場合がある

インタビュー時のポイント

- ▶ 利用者の「謎」を一緒に解きほぐす
- ▶ 既に分かっていることを整理する
- ▶ 既に調べた資料を確認する
- ▶ 実際に何を調べたらいいのか、
利用者と一緒に整理・確認する
(こちらから水を向けないと解きほぐせないことが多い)

何がわかれば満足してもらえるのか

レファレンスツールのまとめ

直感的に使うと失敗する

- ▶ どうやって使うものか、このツールで何がわかるのか、必ず「凡例」「help」「〇〇について」を見よう
- ▶ 索引で引いた？ その言葉は見出し語かな？
- ▶ いつの情報？ 最終更新はいつ？
- ▶ 収録範囲は？
- ▶ 加工したものなら、元の情報は？
- ▶ 本当にあってる？ 念のための作業が必要

レファレンスの掟

- ▶ 情報源となるものは、再現できること
- ▶ 必ず複数資料をあたること
- ▶ 諸説あるものは諸説を提示
→どの説を支持するかは利用者次第

Webと本と利用者と

利用者が求める情報を

信頼できる情報元源から
利用者が利用しやすい形で

速やかに提供する

本日の参考文献

- ・ 『レファレンスブック 選び方・使い方』 長澤正男 石黒祐子
日本図書館協会 2013
- ・ 『図書館で使える情報源と情報サービス』 木本幸子
日外アソシエーツ 2010
- ・ 『改訂 情報サービス演習』 原田智子 樹村房 2016
(現代図書館情報学シリーズ7)
- ・ 『情報サービス論』 竹之内禎 学文社 2013
(ベーシック司書講座・図書館の基礎と展望4)